

市立図書館が 宮崎日日新聞賞「教育賞」受賞!



県内各分野で功績を挙げ、地域の発展に貢献した個人・団体を表彰する宮崎日日新聞賞（宮日賞）。本市は、平成29年度にふるさと納税で産業賞を受賞しています。

第56回を迎えた本年度は、市立図書館が生涯学習の場としての機能充実と市街地活性化に寄与していることなどが評価され、「教育賞」を受賞しました。

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎ 23-9545



開館してからこれまで

平成30年4月に誕生した中心市街地中核施設「**マルマル**」の中心施設として、移転開館した市立図書館。ゆつくりと過ごせる憩いの場にあらゆる世代が集い、10月には来館者が250万人に到達しました。

生涯学習の場としての機能 充実などが評価される

10月23日、宮日会館で行われた贈呈式に池田宜永市長や井上康志館長、図書館を総合的に監修した森田秀之

氏などが出席。賞の贈呈を受けました。宮崎日日新聞社の河野誠司社長は「生涯学習の場としての機能充実とともに、市街地活性化に寄与している」と評価しました。

愛され続ける図書館として

市立図書館は開館後、あらゆる世代が利用し、蔵書に対するニーズも多様化していることから、今後、さらに蔵書の拡充を図ります。

このほか、さまざまな展示やワークショップなども行い、永く愛され続ける図書館を目指します。

市内事業者と市に関係のある 受賞者紹介

【産業賞】

日本情報クリエイティブ（上町）

不動産関連ソフトが全国で高評価。7月の東証マザーズ上場などが評価されました。※28ページに関連記事

【社会賞】

新型コロナウイルスと闘う 医療従事者（県内）

感染対策や地域医療維持のため、懸命な努力に感謝の意が表されました。